

しんぐみ かつら ふそき
新組・桂・富曾亀地区

(新潟県長岡市)

- 計 画 期 間 平成 18 年度～平成 22 年度
- 面 積 954ha
- 交付対象事業費 402 百万円
- 市人口 267,642 人 (地区内人口 14,181 人)

ポイント 災害に強くうらおいのあるまちづくり

地区概要 平成 16 年に発生した「7.13 梅雨前線豪雨」と「新潟県中越地震」により甚大な被害を受けた。この時、道路の寸断による集落孤立、避難所が機能しないこと、住民の防災意識が薄いことなどの要因が、更に被害を大きくさせた。

目 標 避難路を整備するとともに、地区住民の防災意識向上と災害発生時の施策拡充を図る。

指 標

主要幹線道路までの到達時間(%)	100% (H18)	→	78.8% (H23)
自主防災組織の会議開催回数(回/年)	1 回/年 (H18)	→	3 回/年 (H23)

事業内容

- 基幹事業 (397 百万円) → 道路 (幅員 6m～16m、L=1,343m)、耐震性貯水槽 2 箇所、情報伝達施設 3 箇所
- 提案事業 (5 百万円) → 地域防災マップの作成及び情報伝達コンテンツ提供マニュアル作成、まちづくり交付金事業実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討業務委託



地区の現況と課題

- 道路網の強化が必要である。
- 農村集落の防災性向上を併せた活性化が必要である。
- 地区住民自らの防災意識を高め、災害発生時の連絡・支援体制の確立等防災面でのソフト施策の拡充が必要である。

提案事業の特徴

- 地域防災マップ及び情報コンテンツ提供マニュアル作成事業
住民の防災意識の醸成に向け、住民の手による地域防災マップづくりの支援を行い、地域の特性に見合った防災まちづくりに結びつける。また、災害情報の提供を、発災前、発災後、避難までの一連の流れを想定し、有効なコンテンツを検証する。

計画策定プロセス

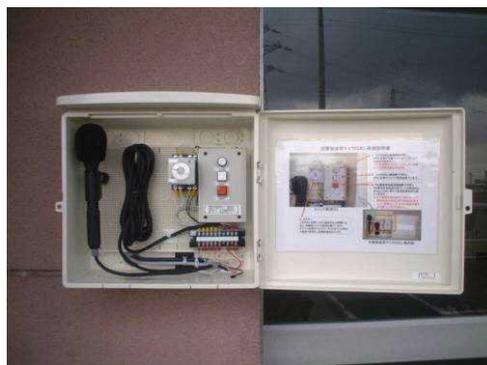
「7.13 梅雨前線豪雨」により被災した生活道路は、大規模な被災箇所から小規模な被災箇所まで数多く点在した。また「新潟県中越地震」では、多くの箇所道路寸断が起こった。1つの道路が寸断されても中心部と集落の交通が途絶しないように迂回路を確保できる道路網を整備する必要が生じた。そこで、まちづくり交付金により、集中的に整備を行い、併せて防災機能の強化を図り、災害に強いまちづくりを目指すため、関係各課と協議し本計画を定めるに至った。



▲富岡亀小FM拡声器



▲富岡亀小FM拡声器BOX



▲富岡亀小FM拡声器非常用マイク